君津市八重原公民館
財政学習講座

君津市の家計簿チェック

§．君津市財政の実情

君津市のお金の出入りのバランスはどうなっているのか？

（2015.11.17）

担当：大塚 成男（千葉大学）
sohtsuka@chiba-u.jp

1

君津市の住民一人当たりの歳出額

（円）	H20	H21	H22	H23	H24	H25
人件費	86,172	84,181	81,922	82,156	79,594	76,285
扶助費	37,913	41,633	56,901	60,942	62,793	63,193
公債費	25,349	25,534	26,062	24,646	25,648	28,502
物件費	57,908	61,149	61,779	60,780	62,817	59,074
普通建設事業費	43,543	36,962	38,363	37,884	23,852	22,033

平成25年度	富津市	袖ヶ浦市	木更津市
人件費	82,907	83,474	59,382
扶助費	63,906	62,877	70,820
公債費	31,006	17,652	20,731
物件費	53,776	66,007	48,127
普通建設事業費	18,657	93,006	58,127

2

平成25年度	君津市	富津市	袖ヶ浦市	木更津市
議会費	3,598	4,789	4,927	2,817
総務費	54,007	41,792	44,140	35,361
民生費	106,307	114,167	110,500	108,836
衛生費	35,931	33,934	39,170	32,899
労働費	687	120	27	69
農林水産業費	4,923	7,068	7,953	3,180
商工費	4,542	9,125	8,175	3,657
土木費	26,310	28,260	85,680	29,844
消防費	15,044	20,221	21,256	12,269
教育費	36,092	34,243	58,108	65,259
公債費	1,872	1,046	1,707	840
歳出合計	317,813	320,105	399,296	315,761

自治体の財政の評価

2007年 6月　「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」
（地方財政健全化法）が成立

第1条　この法律は、地方公共団体の財政の健全性に関する比率の公表の制度を設け、当該比率に応じて、地方公共団体が財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るための計画を策定する制度を定めるとともに、当該計画の実施の促進を図るための行財政上の措置を講ずることにより、地方公共団体の財政の健全化に資することを目的とする。

- 地方公共団体の財政状況に対する決算に基づいた継続的評価・公表制度の導入
- 最終的に財政破綻に陥る前の段階での「イエロー・カード」制度の導入

⇩

財政破綻の危険性がある団体を破綻以前の段階で判別し、
それらの団体に財政再建のための取り組みを義務付ける。

健全化判断比率＝ 以下の財政比率のいずれか一つでも、あらかじめ定められた値を超えると、財政再建が義務付けられる。

① 実質赤字比率 (12.58%を超えるとイエローカード)
＝ 自治体財政の本体部分（普通会計）において歳出が歳入を超過している度合。過去からの赤字が引き継がれるため、「累積赤字」に相当。

② 連結実質赤字比率 (17.58%を超えるとイエローカード)
＝ 決算上は自治体の本体部分からは分離されている事業（公営事業）も含めた自治体全体の赤字の度合い。

③ 実質公債費比率 (25.0%を超えるとイエローカード)
＝ 各年度の債務の返済負担（公債費）が自治体財政に及ぼしている影響の大きさ。地方債以外の実質的な債務（PFIや一部事務組合等の負担）も含めるので「実質」とされる。

④ 将来負担比率 (350%を超えるとイエローカード)
＝ 外郭団体（公社、第3セクター等）も含めて自治体が実質的に負担している債務の総額が自治体の財政に及ぼす影響の大きさ。

5

君津市の健全化判断比率

(%)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
実質赤字比率	--	--	--	--	--	--	--
連結実質赤字比率	--	--	--	--	--	--	--
実質公債費比率	5.4	5.2	5.5	5.7	5.9	6.1	6.4
将来負担比率	51.7	54.0	79.0	89.3	86.4	74.6	61.7

平成25年度	富津市	袖ヶ浦市	木更津市	千葉市
実質赤字比率	--	--	--	--
連結実質赤字比率	--	--	--	0.83
実質公債費比率	9.9	1.8	4.9	18.4
将来負担比率	145.3	--	56.0	248.0

【注】国が返済を負担する地方債（臨時財政対策債等）の発行枠を大きく残している自治体は、将来負担比率が「－」になる。

6

健全化判断比率による評価・判別

•地方公共団体の財政状況の全体像に対する評価ではない。
•地方公共団体における会計上のやりくりによって、表面上は比率の値を健全な水準に抑えることも可能。
•何もしていない団体（歳出がないため、赤字も債務もない）の評価が高くなってしまう危険性がある。

＝ 地方財政健全化法の「死角」

≪早期健全化・財政再生 団体数≫

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
43	22	14	5	2	2	1

しかし、地方財政は改善されているのか？

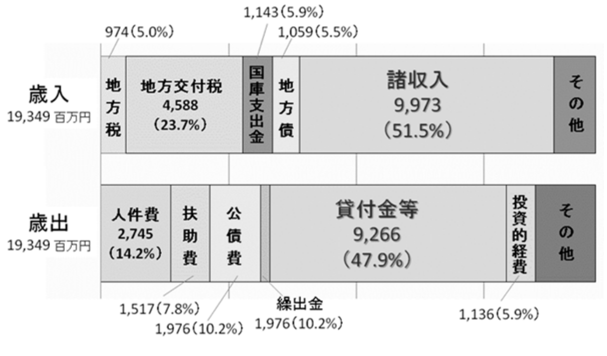
地方財政健全化法の仕組みが機能不全に陥っている危険性がある

7

君津市財政のバランスの評価

自治体の財政は、最終的な収支が黒字であっても、
内容に歪みがあれば、改善が必要になる。

＜H16年度の夕張市決算の内訳＞



収支が赤字にはなっていないが、バランスが非常に悪い。

8

歳入・歳出のグループ分け

① 業務活動収支：日常的な行政活動に伴う収支
＜収入＞ 地方税、地方交付税、使用料・手数料 等
＜支出＞ 人件費、扶助費、物件費、維持補修費、補助費
※税収は投資活動にも用いられるので「収入＞支出」であることが望ましい。

② 投資活動収支：公共施設・インフラ整備のための収支
＜収入＞ 国庫支出金、都道府県支出金
＜支出＞ 普通建設事業費、災害普及事業費 等

③ 財務活動収支：起債や資金のやりくりのための収支
＜収入＞ 繰入金、地方債収入、諸収入
＜支出＞ 公債費、投資・出資金・貸付金、積立金

決算カードから収支分析表を作成するExcelファイル
http://www.sohtsuka.jp/MakeCF.xlsx

9

【参考】夕張市の場合

	(百万円)	H13	H14	H15	H16	H17	H18
業務活動	収入合計	8,362	7,662	7,146	6,785	6,521	6,483
	支出合計	10,399	8,233	7,364	6,959	6,236	39,380
	収支額	−2,036	−571	−218	−174	285	−32,897
投資活動	収入合計	2,845	2,199	1,506	1,433	1,313	1,139
	支出合計	3,025	2,291	1,016	1,136	1,299	1,698
	収支額	−180	−92	491	297	14	−559
財務活動	収入合計	8,808	7,338	8,345	11,131	3,136	15,340
	支出合計	6,591	6,674	8,617	11,254	5,084	16,842
	収支額	2,217	664	−272	−123	−1,948	−1,503
歳入・歳出差額		1	1	1	1	−1,649	−34,959

業務活動の資金が不足し、資金のやりくりの規模が大幅に拡大していた。

⇩

H17年度以前に財政は実質的に破綻していた。

10

君津市の場合

（百万円）		H20	H21	H22	H23	H24	H25
業務活動	収入合計	24,579	21,629	21,125	21,737	21,022	21,643
	支出合計	21,509	23,381	23,062	22,773	22,926	22,058
	収支額	3,070	−1,752	−1,936	−1,037	−1,904	−415
投資活動	収入合計	3,361	5,216	5,030	5,029	4,620	5,057
	支出合計	3,952	3,350	3,482	3,445	2,147	2,117
	収支額	−591	1,867	1,548	1,584	2,473	2,940
財務活動	収入合計	2,027	4,211	5,151	3,506	3,476	2,809
	支出合計	3,014	2,586	2,599	2,463	2,555	3,973
	収支額	−987	1,625	2,552	1,043	921	−1,164
歳入・歳出差額		1,492	1,740	2,163	1,590	1,490	1,361

- H21年度から業務活動の赤字が続いている。
- 投資活動の支出が縮小している。
- 財務活動の規模が拡大しつつある。

11

君津市による財政状況の分析結果の公表

君津市の財政の状況に関する君津市による分析の
結果が市のホームページで公表されている。

君津市のホームページ
→「まちづくりと市勢」「財政状況」
→「決算」「決算（一般会計・特別会計）」
→「財政状況資料集」

類似団体 ＝ 人口構成や産業構造が似通っている自治体

君津市が含まれる類似団体のグループ（Ⅱ-1、126団体）

＜千葉県＞ 銚子市、館山市、茂原市、東金市、富津市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、香取市、山武市

＜その他＞ 石狩市、宮古市、気仙沼市、米沢市、龍ヶ崎市、鹿嶋市、館林市、日光市、高山市、常滑市、舞鶴市、天理市、倉吉市、宇和島市、大洲市、島原市、宇城市、天草市、名護市　他

12

【用語説明】

・経常収支比率：自治体に財政における継続的な活動のための支出が、継続的な収入に対してどれほどの大きさになっているのかを示す比率。
→ この比率が大きいと、投資事業にお金を回すことができない。

・ラスパイレス指数：国家公務員の給与水準を100としたその自治体の職員の給与水準

・一部事務組合：自治体の業務を複数の自治体で共同で行うことを目的として設けられる組織。参加している自治体からの資金の拠出により運営される。

・繰出し: その自治体の本体部分から公営事業等に対して行われる財政上の支援のための支出。

13

君津市財政の現状

・君津市において、借金の負担が限度を超えているわけではない。
ただし、少しずつではあるが、借金への依存度が増加しつつある。

・君津市は人件費や物件費の負担が大きい。
→ 人件費の負担は、職員数が多いことによるもの。君津市の面積が大きいことを考えれば、単純には減らせない。
→ 物件費が大きい理由としては、「公共施設が多い」ことがあげられている。

⇩

普通建設事業が圧迫されており、検討が必要。

財政的に破たんするという状況ではない。しかし、安穏としていられる状況でもない。現状のままでは、君津市の財政を健全な状態に保つことができなくなる可能性がある。

14